



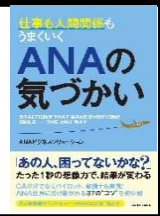
そして、バトンは渡された 著:瀬尾まいこ

私なら「不幸だ」と思うような環境を「不幸ではない」と言う主人公に興味がありました。自分で選択したことを誰かのせいにするのではなく、自分で責任を持つこと。だからこそきちんと考えて人生を選択していく必要があるのだと考えさせられました。「人」として大切なことを忘れずに「思いやり」をもって働いていこうと思います。(関根)



小林陽太郎「性善説」の経営者 著:榎島弘文

役職ではなく人間としての風格、経営者としての卓越した知見、そして東映にスカウトされたという風貌、ゴルフ、テニスはプロ級という、まさにスーパースターのような方でした。小林氏のリーダーシップは社員を単なる利益を創出する企業の一員から誇りを持って活動する社会の一員に変化させたと思います。(澤田)



ANAの気づかい 著:ANAビジネスソリューション

お客様にはわかりやすく、親切に！を心掛けるにはまず身近な社内や家族への気遣いが必要だと改めて感じました。特に自分より後輩に対しては、結論を推測しその手順を丁寧に伝えること、相手から聞きやすい雰囲気を作ることが大切だと思います。※家で本を読んでいたら、娘が自分から絵本を読むようになった事が嬉しいです。(斎藤)



世界最先端の社員教育 著:篠木雄司

福島県のアポロガスという震災後の福島を元気にしたいと活動している会社です。お客様や取引先から「いい会社に入ったね」と言ってもらえるようにすることで、本人は嬉しいし、自分は世間が認めてくれている会社の一員なんだという自信が芽生え、それに見合った行動をとれるようになるということです。(稲田)



最高の「共感力」 著:竹中 功

他人と自分の双方がいかにか気持ちよくコミュニケーションを図るかという対人関係の構築について述べられた本です。意外に感じたのは、まずは自分自身を知ることが先決だということ。自分自身を受け入れることが出来ると人は積極的に相手の気持ちを理解しようとするそうです。また、自分や相手の事を頭で考えるのではなく、気持ちを感じとる大切さを学びました。(齋藤)



最強チームをつくる方法 著:ダニエル・コイル

最強のチームを作る為には、強いリーダーシップを持つ人や優秀な人材をそろえるのではなく、一人一人の意識づけが大切であると書かれておりました。信頼関係があり、お互いの弱いところを知って助け合い、共通の目的意識をもつことの大切さ。そして、この人といるとみんなが自然にプラスの方へ向かって行く。そんな現象を起こせる人。そんな人になりたいと思いました。(太田)



心。 著:稲盛和夫

全てにおいて心の持ちよう、心がけ、思いが自分や自分以外の人に反映され、出来ると思えば助けてくれる人がいて、出来ないと思えば誰も助けてくれない。やると決めればついてきてくれる人がいて、やらないと決めればついてくる人はいない。自分自身が今、「心」を試されているのだと感じました。(飯原)



またあなたから買いたい！ 著:齋藤 泉

新幹線で車内販売をしている方の話です。何が欲しいのか、何に困っているのかはお客様ごとに異なります。それを見つけてあげるにはお客様の事をよく知ることが重要であり、どれが一番お客様にとって良いことなのかを常に考えたいと思いました。また、当社の先輩方はこの考え方を常に持っていると思います。(小山)



明智光秀・秀満 著:小和田哲男

小説ではなく、光秀の史料・研究史の総ざらい書。謎の多い、逆臣・悪人というイメージを持っていましたが、彼の人柄は温和で情に厚く「悪のイメージ」は払拭されました。「本能寺の変」については諸説を50近くあげている。怨恨・野望・抑鬱・陰謀・・・来年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」を見る楽しみが増えました。(柁木)



残業ゼロの人の段取りのキホン 著:伊庭正康

仕事・家事・学校関係の用事と、最近やることに追われてしまうことが多々あります。特に月次決算を行っており、且つスピードを求められる当社では、締切直前にいつもバタついてしまいます。そこで改めて「段取り」を考えてみることにしました。忙しいからこそ先々の予定を決めていくことが大切なのだと思い直しました。(青木)